 PHI-2-004-	sn		科目名	総合科目:人間を考える			
		奥田 雄一	開講年度学期	2020年度 後期	玥	単位数	2
せんか?この。 かっこの かっこの まを生きる いまを 生きる す を 目 と いる 学 の 他 き の るべき かっと いる と いる	ような哲学的命題になく、も く無関係ではなく、も 間について考える心 かを語る文学であった かです。そして、心理 りとした先生が集まっ 人間を考える」では、 が 様な角度から、人間 の講演もありますので	答えはなかれる いしろであった。 でし、人間文化: で、人間す。それで で理・人ものを でいまな学	なか見つけられた 答えようとして、 たり、悩む人々を どのように生き コースには、多く その各先生の専 文化コースの教 を探究してゆきた 問から「人間」を	ないものです。し 発展してきたと 導くことを考える ないてきたのかる の学問のなかで 門はひとりひとり 員全員が担当す こいと考えます。 こ 見ることによって	かし、多くいのでは、多ますでは、多いでは、まままでは、いったいでは、いったいでは、またい、自分ない、	の学問は、いまれば、いまったり、いずる歴史でで、こで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これで、これ	のよ かで えの まそ
異なった学問分野から「人間」を探究することによって、いかに生きるべきかのヒントを自分なりに見つけていきましょう。さまざまな学問と「人間」がどのように関わっているのかを学び、考えましょう。 受講者ひとりひとりが、各学問や授業におけるグループワークを通じて、自分を含む「人間」について考え、さらには自分を含む環境との「共生」という問題までも考察してほしいと思います。 したがって、授業やグループワーク、また学外の講師による講演を通じて、「人間」について考え、自分なりの意見をもち、発表							
対応	T		1		l		
Т		1					
+				0			0
<u> </u>	自己を抑制する力		協働する力		構想し、乳	実行する力	
0	主体性	0	関係を構築する	3カ 〇	実践的ス	キル	
各教員による授業や、学生同士のグループワークを中心に行います。授業ごとに課題が出ますので、積極的にグループワークをしましょう。また、グループでのディスカッションの内容については各グループごとに発表(プレゼン)します。また各授業の終わりにはコメントペーパーを書いてもらいます。また、「人間」について考える学問を専門とした学外の先生による講演会等も多数予定しています。講演会の際には感想ペーパーを配布し感想文を書いてもらって、講師の先生にフィードバックします。各授業をよりよく理解するために、下記の参考文献を準備学習に活用しましょう。							
グ	サービスラ	ラーニング		課題解決	型学修		
心理·人間	文化コースの2年次必	必修科目です	† .				
成績は、授業でのグループワークへの参加・コメントペーパーの提出などの平常点と講演の感想文の提出状況(以上50%)に、学期末のレポートまたはテスト(以上50%)を合わせて評価します。レポートは「授業」(講演会ではない)の内容をもとに各自でテーマを選択し、そのテーマについて担当した学内の教員に提出することになります。							
必要な資料は授業時に配布します。							
萩原朔太郎『萩原朔太郎詩集』(岩波文庫、新潮文庫他) 松田忠徳著『温泉教授の温泉ガイド』光文社新書 遠藤利彦他著「乳幼児のこころ」有斐閣 2011年 無藤隆・池上知子・福丸由佳・森敏昭(編集)「よくわかる心理学」ミネルヴァ書房、2009年 無藤隆・遠藤由美・玉瀬耕治・森敏昭「心理学 (New Liberal Arts Selection)」有斐閣、2004年 中島義明・箱田裕司・繁桝算男「新・心理学の基礎知識」有斐閣、2005年 越智啓太,徳田英次,荷方邦夫,望月聡,服部環「心理学の「現在」がわかるブックガイド」実務教育出版、20 11年 都筑学「希望の心理学」ミネルヴァ書房、2004年 都筑学「希望の心理学」ミネルヴァ書房、2004年 都筑学 白井利明(編集)「時間的展望研究ガイドブック」ナカニシヤ出版、2007年 山本登志哉 高木光太郎(編集)「ディスコミュニケーションの心理学」東京大学出版会、2011年『群馬県の歴史』山川出版社、1997年							
	野郎 「せうまにある「学のるま異け者らルす」対 ○ 各極プ、のを 心 成出「教 必 萩松遠無無中口、 人んなを生っ学総問他べすなてひに一る 応 教的ご人際よ 理 績状業員 要原田藤藤藤島華本 か?題きるりを科通分か たきり自りと 員にと間によ 人 は況」に な 朔忠利隆隆義世学 かことるべす専目じ野と 学にの全人きる呼じ 多い じしとをクで より飛に感動 間 授以講出 粋 鼠者代池遠明	郎、松本学、大場では、では、いった。 「人はいうなを生きるけるようにある学院間があった。としているは、では、いった。としているは、では、からでは、大きのからは、大きのからは、大きのからは、大きのからは、大きのからは、大きのからは、大きのからは、大きのからは、大きのからは、大きのからは、大きのからは、大きのからは、大きのからは、大きのからが、大きのからが、大きのでは、大きのでした。 「人はいかのでとしばないのでという。」では、大きのでは、大きのでという。 「人はいかのでという。」では、大きのでは、大きのでは、大きのでという。 「人が、たきのから、たきのでという。」では、大きのでは、いきのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、いきのでは、大きのでは、大きのでは、いきのでは、いきのでは、いきのでは、いきのでは、いきのでは、い	野口 華世、野村 誠、西川 正也、奥田 雄一郎、松本 学、大嶋 果織 「人はいかに生きるべきか」「私はなにものなのせんか?このような哲学的命題に答えはなからうなの題と全く無関係ではなる心理学り、間文を生きるべきからであったりかを語る文学であったがであった。 「総合科目: 人間を考える」で、人間で、多様しれる学問を通じ多様な角度から、ので、人間で、多もしれます。で、一般ではならが、各学問を通じ多様な角度がら、ので、多もしれます。というが、各学問の他の分野が、各学問という道が、各学問という。さるで、というが、各学とのできる、というできる、というできる、というできる。とができる、というできる。とができる。とができる。とができる。とができる。とができる。とができる。とができる。というには感を対して、大きには感を対して、大きには感をがして、アフークへの参えといるというがに、デリーになります。とよりよく理解するために、デリーになります。とよりよく理解することになります。というには、授業でのグループワークへの参えといる。というには、授業でのグループワークへの参えといる。というには、授業でのグループワークへの参えといる。というには、大きにも、大きにも、大きにも、大きにも、大きにも、大きにも、大きにも、大きにも	野口 華世、野村 誠、西川 正也、奥田 雄一郎、松本 学、大嶋 果織 「人はいかに生きるべきか」「私はなにものなのか」などのようさかののできた。大崎 果織 「人はいかに生きるべきか」「私はなにものなのか」などのようかにないのできた。大阪の最に答えはなかなか見つけらればないのできた。大阪のです。そして、心理・人間文化コースには、多くる学問を専門とした先生が集まっています。その各先生の専「総合科目:人間を考える」では、心理・人間文化コースの教」学問を通じ多様な角度から、人間というものを探究してゆきたべきがしている。という道筋が見えてくるかもしれません。せめてヒンます。 異なった学問分野から「人間」を探究することによって、いかにけていきましょう。さまざまな学問と「人間」がどのように関わらるべきか」という道筋が見えてくるかもしれません。せめてヒンます。 異なった学問分野から「人間」を探究することによって、いかにけていきましょう。さまざまな学問と「人間」がどのように関わらるでは自分を含む環境との「共生」という問題までも考察して、ループワーク、また学外の講師による講演を通じて、「人間」にすることができる、ということを到達目標にします。 「対応 自己を理解する力 「公元会う力」 は、「人間」について考える学問を専門とした学外の先生によるの際には感想ペーパーを配布し感想文を書いてもらって、記をよりよく理解するために、下記の参考文献を準備学習に近が、サービスラーニング 「少世・人間文化コースの2年次必修科目です。 「成績は、授業でのグループワークへの参加・コメントペーパ出状況(以上50%)に、デリカトでもとに各目でテーマを選教員に提出することになります。 必要な資料は授業時に配布します。 萩原朔太郎 「表験限別大の「上の大の内容をもとに各自でテーマを選教員に提出することになります。 必要な資料は授業時に配布します。 表に関すないに対します。 必要な資料は授業時に配布します。 表に関することになります。 必要な資料は授業時に配布します。 表に関するによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりに	野口 華世、野村 誠、西川 正也、奥田 雄一郎、松本 学、大嶋 果織 「人はいかに生きるべきか」「私はなにものなのか」などのようなことを、一度くせんか?このような哲学的命題に答えはなかなか見つけられないものです。しつな命題と全く無関係ではなく、むしろそれに答えようとして、発展してきたと、に生きるべきかを語る文学であったり、人々がどのように生きぬいてきたのかる方のです。そして、心理・人間文化コースには、多くの学問のなかてる学問を専門とした先生が集まっています。その各先生の専門はひとりひとり「総合料目・人間を考える」では、心理・人間文化コースの教員全員が担当すりで問題」の場所が見えてくるかもしれません。せめてヒントとなることを見ます。 異なった学問分野の請演もありますので、多様な学問から「人間」を見なうという道筋が見えてくるかもしれません。せめてヒントとなることを見ます。 異なった学問分野から「人間」を探究することによって、いかに生きるべきかのけていきましょう。さまざまな学問と「人間」がどのように関わっているのかを学ます。 異なった学問分野から「人間」を探究することによって、いかに生きるべきかのけていきましょう。さまざまな学問と「人間」がどのように関わっているのかを行いさましょう。さまざまな学問と「人間」がどのように関わっているのかを分らには自分を含む環境との「共生」という問題までも考察してほしいと思います。レーブワーク、また学外の講師による講演を通じて、「人間」について考え、自することができる、ということを到達目標にします。 対応 自律するカ 自建するカ 自建するカ 自己を理解するカ 自己を理解するカ 自己を理解するカ 自己を理解するカ 自己を理解するカ 自己を理解するカ 自己を理解するかし、下記の参考で試を得楽するから、「「人間」について考える学問を専門とした学外の先生による講演会等も多の際には感想ペーバーを配布し感想文を書いてもらって、講師の先生によっ、「人間」について考える学問を専門とした学外の先生による講演会等も多いの際には感想ペーバーを配布し感想文を書いてもらって、講師の先生による講演会等も多いの際には感想ペーバーを配布し感想文を書いてもらって、講師の先生による講演会ではない)の内容をもとに各自でテーマを選択し、そのテー・教員に提出することになります。 必要な資料は授業時に配布します。 永藤原本と即行なないの内容をもとに各自でテーマを選択し、そのテー・教員に提出することにないます。 必要な資料は授業時に配布します。 永藤原本と記令がよの記者は関係編集り「よくかかる心理学」によりかわかるフを異性と記令を表しまの記述は関係のよりに対するといた。 「授業のよのには関係、というないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	野口 華世、野村 誠、西川 正也、奥田 雄一郎、松本 学、大嶋 果織 「人はいかに生きるべきか」「私はなにものなのか」などのようなことを、一度くらい考えたせんか?このような哲学的命題に答えばなかなか見つけられないものです。しかし、多くうな命題と全く無関係ではなく、むしろそれに答えようとして、発展してきたとも言えますまを生きる人間について考える心理学であったり、似む人々を導てことを考える宗教学でに生きるべきかを語る文学であったり、人々がどのように生きぬいてきたのかを明らかに、あったりするのです。そして、心理・人間文化コースには、多くの学問のなかでも特に人間を分別を導入した生生が集まっています。その各先生の専門はひとりひとり異なりまず「総合科目・人間を考える」では、心理・人間文化コースの教員全員が担当するという形:学問を通じ多様な角度から、人間というものを探究してゆきたいと考えます。また学外のの他の分野の講演もありますので、多様な学問から「人間」を見ることによって、自分ならべきか」という道筋が見えてくるかもしれません。せめてヒントとなることを見つけてはます。 異なった学問分野から「人間」を探究することによって、いかに生きるべきかのヒントを自けていきましょう。さきさまな学問と「人間」がどのように関わっているのかを学び、考えま者ひとりひとりが、各学問や授工とは対るグループワークを通じて、自分を含む「人間」にらいて考え、自分を含む「人間」のできな「人間」について考え、自分を含む「人間」について考え、自分を含む「人間」について考え、自分を含む「人間」について考え、自分を30の意することができる、ということを到達目標にします。 対応 自律するカ コミュニケーションカ 問題に対し、主体性 関係を構築するカ は協働するカ 自己を理解するカ 自己を理解するカ は協働するカ は場かるカ は関係を構築するカ の際には感想ペーパーを配布し感想文を書いてもらって、講師の先生にフィードバックをよりよく理解するために、下記の参考文献を準備学習に活用しましよう。 グ サービスラーニング 課題解決型学修 心理・人間文化コースの2年次必修科目です。 成績は、授業でのグループワークへの参加・コメントペーパーの提出などの平常点と謂出状況(以上50%)に、学期末のレポートまたはテスト(以上50%)を合わせて評価しま「浸薬(議演会ではない)の内容をもとに各自でテーマを選択し、そのテーマについて教員に提出することになります。 必要な資料は授業時に配布します。 萩原朔太郎荻原朔太郎新集』(岩波文庫、新潮文庫他) 松田忠徳著『温泉教授の温泉ガイ』・北文文庫、新潮文庫他) 松田忠徳著『温泉教授の温泉ガイ』・北文文庫、新潮文庫他) 松田忠徳著『温泉教授の温泉ガイ」・「本録明に「編集」を含わいる心理学」「ミネルヴァ書房、200年 ・	野口 華世、野村 誠、西川 正也、奥田 雄一 朗講年度学期 2020年度 後期 単位数

中村哲『天、共に在りアフガニスタン30年の闘い』NHK出版 澤地久枝・中村哲『人は愛するに足り、真心は信ずるに足る――アフガンとの約束』岩波書店 *その他の参考文献は授業でも紹介します。

内容・スケジュール						
1週目						
授業学修内容	オリエンテーション(概要紹介・グループ分け)					
授業外学修内	 シラバスを読んでくる	時間数	0.5			
容						
2週目						
授業学修内容	授業: 若者の発達・文化・学び(奥田)					
授業外学修内 容	準備学習として参考文献を参照する振り返りとして授業内容の復習をする	時間数	1			
3週目						
授業学修内容	講演1「グローバル関連講演」	1				
授業外学修内 容	振り返りとして講演に関する感想文を提出	時間数	1			
4週目						
授業学修内容	授業学修内容 授業:世界の見方、世界の見え方-地図から学ぶ多様な視点-(大嶋)					
授業外学修内 容	 準備学習として参考文献を参照する振り返りとして授業内容の復習をする 	時間数	0.5			
5週目						
授業学修内容	授業:発達心理学入門 (松本)					
授業外学修内 容	準備学習として参考文献を参照する振り返りとして授業内容の復習をする	時間数	1			
6週目		1				
授業学修内容						
授業外学修内	これまでの学習履歴を振り返り、3年次以降の課題ゼミにおいて自らが何を専	時間数	1			
容	門とするのかについて考える	时间奴	I			
7週目						
授業学修内容	授業:萩原朔太郎の詩と生涯 (西川)		1			
授業外学修内 容	準備学習として参考文献を参照する振り返りとして授業内容の復習をする	時間数	1			
8週目						
授業学修内容	授業:『上毛かるた』からみる群馬の歴史(野口)					
授業外学修内 容	準備学習として参考文献を参照する振り返りとして授業内容の復習をする	時間数	1			
9週目		•				
授業学修内容	講演2「心理学」					
授業外学修内 容	振り返りとして講演に関する感想文を提出	時間数	1			
10週目	•		<u>'</u>			
授業学修内容	講演3「歴史学」					
授業外学修内 容	振り返りとして講演に関する感想文を提出	時間数	0.5			
<u></u> 11週目	1	<u> </u>				
- 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2						
授業外学修内容	準備学習として参考文献を参照する振り返りとして授業内容の復習をする	時間数	0.5			
12週目						
授業学修内容	講演4(人間文化系、共生)					
授業外学修内						
容	振り返りとして講演に関する感想文を提出	時間数	0.5			

13週目					
授業学修内容	講演5(心理学系)				
授業外学修内 容	振り返りとして講演に関する感想文を提出	時間数	2		
14週目					
授業学修内容	講演6(人間文化系)				
授業外学修内 容	振り返りとして講演に関する感想文を提出		2		
15週目					
授業学修内容	授業の振り返り心理・人間文化コース卒業論文発表会*以上の授業の担当順序・内容などは変更になる場合があります。				
授業外学修内 容	振り返りとして卒業論文発表会に関する感想文を提出レポート作成	時間数	3		
上記の授業外学修時間の合計 16.5					
その他に必要な自習時間 73.5					

Number	PHI-2-004-sn	Subject	What is Man?		
Name	野口 華世(Noguchi Hanayo)、野村 誠(N omura Makoto)、西川 正也(Nishikawa M asaya)、奥田 雄一郎(Okuda Yuichiro)、 松本 学(Mataumoto Manabu)、大嶋 果 織(Oshima Kaori)	rear and S	Second semester for 2020	Credits	2
Course O utline	機(Oshima Kaori) Have you ever thought about things like, "How should people live?" or "What am I?" The answer s to these kinds of philosophical questions are not easy to find. However, most academic fields a re not completely unrelated to these questions. Rather, one could say they have developed tryin g to find an answer. This applies to psychology which thinks about people living in the present, t o religious studies which thinks about guiding people in distress, to literature which tells us how we should live, and to historical science which clarifies how people have survived. The "Psycholo gy, Humanity and Culture Course" has many professors who, out of many fields, specialized part icularly in fields that think about humans. Each professor has a different speciality. In this course "What is Man?", we will research humans from various angles and through various academic field s, with participation of all the professors from the "Psychology, Humanity and Culture Course". By looking at humans through different academic fields, we might come to see our own truth for "how should people live". We hope students will find a hint to that question.				